

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
疾病治療論Ⅶ		必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
藤井 充 他	306	mitsuru.fujii	水曜日 12:00～13:00		
授業の目的・概要	疾病治療論Ⅶでは、専門看護領域の学習を進める上で必要な皮膚疾患、眼疾患、感染症、アレルギー疾患、膠原病についての症状、診断に必要な検査及び治療、予後について学ぶ。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> レビテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	人体機能構造学と病理学の教科書で予習を行うこと。人体機能構造学と病理学で学習した内容が疾病治療論に繋がっていることを認識し、同様に今学んでいる疾病治療論で学習した知識がこれから学習する看護学専門分野を学習する上で必要になることを認識して学習すること。				
教科書	・専門分野(2)成人看護学<11> 第15版 アルギン・膠原病・感染症(系統看護学講座)/医学書院 ・専門分野(2)成人看護学<12> 第15版 皮膚(系統看護学講座)/医学書院 ・専門分野(2)成人看護学<13> 第15版 眼(系統看護学講座)/医学書院				
参考書	ハリソン内科学 第5版/日本語版監修:福井次矢、黒田清 /メディカルサイエンス・インターナショナル /2017				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	臨床的な重要な疾患についての基礎的な知識と考え方を習得できる。		HSU(1)(2),NS(1)(5)		
②					
③					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	皮膚科1 (担当:榎本) 皮膚の構造、皮膚疾患について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
2	皮膚科2 褥瘡、熱傷について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
3	眼科1 目の構造と生理について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
4	眼科2 目の疾患について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
5	検査1 問診、診察、検体検査について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
6	検査2 生体検査について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
7	症例から学ぶ	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
8	感染症(1) (担当:藤井) 感染症の概略、動向等について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
9	感染症(2) 主な感染症について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
10	アレルギー性疾患(1) (担当:藤井) 免疫の働きについて学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
11	アレルギー性疾患(2) 花粉症、食物アレルギーについて学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
12	アレルギー性疾患(3) その他のアレルギー疾患について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
13	膠原病(1) (担当:藤井) 膠原病の特徴について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
14	膠原病(2) 関節リウマチ、SLE などについて学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
15	膠原病(3) 全身性硬皮症、その他膠原病について学習する。	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1	
試	達成度評価・評価のポイントを参照				

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	0
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	定期試験は講義全体について実施する。				試験問題について講義の内容を踏まえて解説する。必要に応じフィードバックの時間をしっかり確保する。
	②						
	③						
レポート	①						
	②						
	③						
成果発表	①						
	②						
	③						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
その他	①						
	②						
	③						
備 考							
他担当教員	榎本 温						
教員の実務経験	科目担当者は医師免許を取得して40年以上の経験を持っている。						
実践的授業の内容	臨床現場で遭遇することが多い疾患とその問題点を踏まえ、現場で有効に役立てる知識の提供に努める。						
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目における連絡・調整を行う看護教員:堀口まり子 ・学習内容は、講義の進行度によって前後する可能性がある。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢の変化により再度シラバスの変更がありうるので注意すること。 						